

-- ダイジェスト版 --

赤字で書かれた部分がダイジェスト版でカットされている部分です
かなり多くの部分を公開していますので参考にしてみてください

中学入試

サクラサク 中学受験勉強法

家庭学習コンサルタント
坂本 七郎 著

こうすれば、勉強はオモシロくなる
学力がぐんぐん伸びる家庭学習法

Copyright© ドリームエデュケーション All Rights Reserved.

「サクラサク中学受験」のお申込みはこちら

https://www.dreameducation.co.jp/chu/order_pay.html

Copyright© ドリームエデュケーション All Rights Reserved.

■ 規約・契約約款 ■

『サクラサク中学受験勉強法』（以下、「本教材」と表記）は著作権法で保護されている著作物です。本教材の使用に際しましては、以下の点にご注意下さい。

■ 「本教材」の著作権は、全て株式会社ドリームエデュケーションに属します。著作権者の事前許可を得ずして、マニュアルの一部または全部を、あらゆるデータ蓄積手段（印刷物、ビデオ、テープレコーダーおよび電子メディア、インターネット等）により複製および転載することを禁じます。

■ 使用許諾契約書

この契約は、購入者と株式会社ドリームエデュケーションとの契約になります。

パッケージまたは PDF を開封・閲覧することをもって、あなたはこの契約に同意したことになります。

あなたがこの契約に同意できない場合は、直ちに本教材を当社までご返品ください。

第1条 目的

この契約書は、本教材に含まれる情報を、本契約に基づきあなたが非独占的に使用する権利を許諾するものです。

第2条 一般公開の禁止

本教材に含まれる情報は、著作権法および特許法によって保護され、あなたは、その情報を製作者との書面による事前許可を得ずして出版および電子メディアによる配信等により、一般公開並びに転売してはならないものとします。

第3条 契約解除

あなたがこの契約に違反した場合、当社は何の通告もなく、この使用許諾契約を解除することができるものとします。

第4条 損害賠償

あなたが本契約の第2条の規定に違反した場合、あなたは本契約の解除に関わらず、直ちに株式会社ドリームエデュケーションに対して、違反金として、違反件数と販売価格を乗じた価格の10倍の金額を支払うものとします。

サクラサク中学受験勉強法 目次

保護者の方へ.....	4
このバイブルを手にしたラッキーな君に.....	6
◎ステップ1 勉強の奥儀を完全マスターせよ.....	11
勉強で一番大切なモノとは？	12
勉強の奥儀（おうぎ）とは？	15
これでもう迷わない！ 勉強の手順（5ステップ）	19
「暗記の達人」が使う4つの技とは？	28
苦手意識がふき飛ぶ！ ボーリング型勉強法とは？	36
◎ステップ2 各教科の絶対基礎力を“最短ルート”でマスターせよ.....	37
脳がよるこぶ“朝トレ”をはじめよう	38
算数の絶対基礎力をマスターせよ	43
■「お楽しみタイム」の中身とは？	44
■基礎をガッチリ固め応用力につなげる算数勉強法	46
■ゆるぎない基礎を身に付ける2冊の問題集の使い方.....	48
国語の絶対基礎力をマスターせよ	53
理科の絶対基礎力をマスターせよ	64
社会の絶対基礎力をマスターせよ	67
◎ステップ3 最強の学習計画を立てよう.....	75
計画を立てると、充実した毎日が過ごせる	76
■ ステップ1. 「やることリスト」をつくる（何を）	78
■ ステップ2. 「やることリスト」をつくる（どれだけ）	78
■ ステップ3. 「週間計画表」をつくる（いつ）	78
最後に、坂本からのメッセージ.....	81

※上記ページ数はダイジェスト版のページ数となり、実際のものとは異なります。

保護者の方へ

本書を手にとってくれてありがとうございます。

この教材（マニュアル）は、偏差値60レベルの私立中入試、公立中高一貫校受検に照準を合わせ、その“下地”となる基礎力を「家庭学習」で身に付けることを目的としています。

この“下地”となる基礎力のことを、“絶対基礎力”と呼ぶことにしましょう。この“絶対基礎力”は、ただの基礎力ではなく、「集中力」、「思考力」、「論理的思考能力」、「発想力」、「読解力」など、中学入試に必要な総合的な「基礎力」だと考えてください。

本書に書いてある通りに学習を進めていけば、あなたのお子さんもこの“絶対基礎力”を無理なく身に付けることができます。

短期間で楽しみながらあなたのお子さんが“絶対基礎力”をマスターし、数年後には見事、志望する中学校に笑顔で入学できることを心から願っています。

<本書の活用の仕方（保護者向け）>

まずは一度、保護者であるあなたが教材に目を通してください。

そして、各教科の勉強の流れ、計画の立て方などのおおまかなポイントを理解して下さい。

また子どもたちは、自分で計画を立てることがとても苦手です。

本書では、できるだけ自分たちで計画を立てられるように「学習の目安」を作成し計画の立て方を工夫しています。それでも最初は難しいと思いますので、一緒に1週間の学習計画表を作ってみてください。

本書では、各問題集を進めるペースを「学習の目安」として記載しています。しかし、これはあくまで一つの目安に過ぎません。この目安より速いとか遅いとかはあまり意味がありません。お子さん自身の学習スピードに合わせて勉強を進めるようにしてください。

計画がどんどん遅れてしまい、親が焦って叱りつけるなどは絶対にしないでください。

あなたの最大の役目は、お子さんの自信を育てることです。

それを忘れないでくださいね。

そして無事この教材が終了したら、お子さんの志望校に合わせた対策を進めてください。

<本書で紹介している教材の購入について>

この教材を実践していくためには、市販されている教材の購入が必要です。

大きな本屋さんが近所があれば、本書で紹介しているほとんどの教材は揃えることが可能です。しかし、家の近くにそのような本屋さんがないのであれば、インターネットの「アマゾン」などの本屋さんで本を注文してください。

アマゾンのホームページはこちら <http://www.amazon.co.jp/>

ただし、本を注文してから家に届くまでに3日～1週間くらいかかります。そして、1度に注文する教材の数が多ければ多いほど、アマゾンで教材をそろえるまでに時間がかかってしまいます。教材を注文したけど、なかなか教材が届かずにせっかく高まってきたお子さんのやる気が冷めてしまったらもったいないですよ。

そこでひとつアドバイス。

アマゾンでは、基本的に全商品、送料無料です。

そのため、これだけはすぐに欲しいという教材があったら、こまめに注文をすると便利です。

教材は必要なものから、早め早めにそろえていきましょう。

このバイブルを手にしたラッキーな君に

いきなりですが・・・

君は自分が一番行きたいと願っている中学校に、楽しく勉強しながら

合格することができるとてもラッキーな小学生です。

そして、君のがんばりしだいで、偏差値^{へんさち}60を超える難関校^{なんかんこう}と呼ばれる
入るのが難^{むずか}しい中学にだって入ることができるのです！

君「いきなり、なんなんだ～」

おどろかせてしまったかもしれませんね（^^；）

はじめまして！

私は、坂本 七郎（さかもとしちろう）と言います。

もしかしたら、私の名前をはじめて知ったかもしれませんので、

簡単^{かんたん}に自己紹介^{じこしょうかい}からはじめましょう。

私は自分で会社^{せつりつ}を設立して、小・中学生に
家庭でおこなう勉強のアドバイスをしています。

これまで学習塾（集団や個別指導^{しどう}）を通して520人、
インターネットを通じて3400人の生徒^{せいと}を指導^{しどう}してきました。

それから、『ユダヤ学習法』や『小学生の学力は「計画力」で決まる』
(共に大和出版刊) という書店で売られている本を出版したり、
取材を受けて雑誌にのったりもしています。

また、年間1200件の相談が、小中学生のお母さん・お父さん
たちから私のところに寄せられます。

そして、このような活動を続けてきた結果、今では学習塾の先生
や塾長、それから学校の先生まで子供たちへの勉強の教え方や
勉強のやり方などを教えるようにもなりました。

そして、今回は私が今まで多くの子供たちと接しアドバイスして
きた経験をもとに、君が数年後、中学受験で見事合格を勝ち取る
ための方法をたっぷり紹介していこうと思っています。

- ・ 習い事を続けながら受験をしたい君。
- ・ 塾に通っているけど、成績が伸び悩んでいる君。
- ・ 受験はしないけど楽しみながら勉強をしていきたい君。

そんな君たちにこそ、この方法を知ってほしいのです。

君「でも、死ぬほど勉強しなきゃだめなんですよ」

そんな1日に4時間も5時間も勉強する必要はありません。

私の勉強法で、君がやることはただ一つ。

私がこれから話していく順に、“楽しみながら”勉強していきだけ♪
楽しみながら勉強するだけでいいのです。

それだけでどんどん頭が良くなっていきます。

むずかしい問題をたくさんやる必要もありません。



宿題もありません。

君と親とで計画を立てて、
楽しみながらやりたいように勉強していけばいいのです。

楽しみながら勉強することが、やっぱり一番なんですよ。
君は、この本に書いてあるとおりに勉強をすると
今まできらいだった勉強が楽しく感じられるようになるはずですよ。

また、お母さんやお父さんもおどろくようなことも覚えられるようになるので
お母さんから、うんとほめられるようになるでしょう。

そんなサイコーの勉強方法を今からお話ししていきます。

この勉強法で楽しく勉強を続けていくうちに、
気づいたら、君の行きたい中学校に合格するための^{きそりよく}基礎力が
自然に身についていることですよ。

このペースで進めていけば入試も大丈夫！

じゃあ、そのためには^{ぐたいてき}具体的にはどのように勉強を進めていくかというと、

小5までの間に、小6までの勉強をすべて終わらせてしまいます。

君「えーっ、自信ないなあー」

そう君は思うかもしれないけど、難しいことではないんだよ。
だれでも小6までの勉強を終わらせることができます。

考えてみてください・・・

もし、小6までの勉強が早くに終わらせることができれば、
学校の勉強がラクになって、勉強がとっても楽しくなります。

それに、友達にも自慢^{じまん}できるよね。

友達をおどろかせてしましましょう！(^_-)

君「でも、まだ自信ないです・・・」

そうかもしれないよね。

みんな、はじめはそう思っていました。

だから、はじめは君のペースで勉強を進めてみてください。

勉強をしていくうちに、しだいにコツややり方になれてくるので
だんだんと自信が出てくるようになりますよ。

そして、君が6年生に上がる時には、
勉強が今の10倍は楽しくなっていることを私が約束します。

だから、安心してついてきてください。

君「わかりました。とにかくやってみます！」

そう、その気持ちだよ！

それでは、いよいよスタートです。

笑いながら、次のページをめくってください（^^）

<現在、塾や習い事などでいそがしい君へのメッセージ>

現在塾や習いごと等に通っていて、いそがしい毎日を過ごしている君は、この本に書かれているペースでは学習を進めていくことはむずかしいと思います。

その場合は、すべてをやるのではなく、自分がやってみたいと思うもの、自分の苦手なところ・不得意なところを得意にするための勉強から進めていくようにしてください。

苦手なところができるようになると、自分に自信がつきますよね。

自分に自信が持てるようになると、今までできなかったことが、カンタンにできるようになることがたくさんあるのです。

つまり、すべてこの本のとおり学習する必要はありません。自分のペースで、できることから進めるようにしてください。

◎ステップ1 勉強の奥儀を完全マスターせよ

勉強で一番大切なモノとは？

よーし！

では、ここからは大切な話をバンバンしていくので
よーく耳の穴を掃除（そうじ）してから聞いて下さいね（笑）。

じゃあ、いきなりですが君に質問です！
勉強で一番大切なモノって何だと思いますか？

これを知らないと、君がいくら一生懸命（いっしょうけんめい）勉強しても
まったく成績は上がらないのです。

君「そんなことイキナリ言われても・・・。ん～何だろ？」

どうせ、勉強するなら成績が上がった方がいいよね。

君「もちろんです。」

なら、今から私が言うことをよく聞いて下さい。

勉強で一番大切なものとは、

「 基 礎 （ き そ ） 」 だよ。

君「えっ、そんなの当たり前じゃないですか？」

うん。当たり前だけど、これが一番大切なんです。
特に、算数については基礎がものすごく大切なのです。

例えば、私は中学生に^{すうがく}数学（算数）を教えています、

どこか分からないところやつまずいているところがあると、
私は小学校の時の算数を勉強させるのです。

そこで、しばらく基礎（小学校の算数）を勉強させていると
やがて、中学校の勉強がおどろくほどできるようになるのです。

つまり、基礎がない^{じょうたい}状態で勉強を続けても
わからないことが増えていくだけで勉強がとてつまらないもの
になってしまうのですよ。

君「うん、わからない時は勉強もつまらないです。」

そうだね、勉強がわからないとやる気も出ないから
勉強がおもしろくないんだよね。

基礎をしっかりと勉強しておけば、
将来、勉強で^{こま}困ることが^{いっき}一切なくなるし、
つらいと思っていた勉強が、おどろくほど^{たの}楽しくなってくるんだよ。

君「それは、楽しみだなあ。がんばって基礎を勉強していこうかな。」

そう、その気持ちが大切！

その^{いき}意気でがんばっていこうね。

それじゃあ、基礎の大切さがわかったところで次の話に進みますね。

君「はい（^-^）／」

これから君には「中学受験に必要な基礎学力」を身につけてもらうための“スーパープログラム”を用意しています。

そのプログラムをこれから君に紹介する前に、
“勉強の奥儀（おうぎ）”を君に伝授しようと思います。

君「勉強の奥儀？なんだろー、楽しみだなあ o (^ - ^) o」

じゃあ、次のページへ進んでみよう！

勉強の奥儀（おうぎ）とは？

さて、

ここでは、この先7年以上ずーっと使うことのできる

“勉強の奥儀”を君に伝授^{でんじゅ}しましょう。

この勉強の奥儀は、中学生や高校生でもよく分かっていない子が

多いんだけど知っているのと知らないのとでは「雲泥^{うんでい}の差（大きな違いの意味）」ですので絶対に覚えてください。

この奥儀は、A4 とかの紙に大きな字で書いて

机の前やトイレ、テレビの前（これはダメだな）に貼^はってほしいのです。

そのくらい大事な考え方なんですよ。

君「どうしてそんなに大事なんですか？」

うん、実は多くの子どもたちは、勉強を「ただやればいい」とか「言われたことをとにかく終えればそれでいい」というように考えている子がとても多いのです。

でも、それでは勉強をする意味がまったく無いんだよね。

そんな風に勉強をしているようなら、むしろやらない方がよい。そのくらいダメな考え方なんだよ。

だから、この勉強の奥儀はとても大切なのです。

先ほど話した「勉強の基礎」も大切だって言っていたけど、それと同じくらい大切なので今から言うことを必ず覚えてください。

【勉強の奥儀】

勉強とは、「できない」ことを
「できる」ようにすることである。

「わからない」ことを、「わかる」ようにすること、ではないんだ。

「わからない」(できない)を、「わかる」にして、さらに「できる」にする。

これが大切なんだよ。

君「これって、当たり前じゃないですか？」

そう、聞けば当たり前のこと。

でも、ほとんどの子はこの大切な奥儀を忘れてしまうんだ。

君はテストをやって、テストが返ってきてから見直しをしている？

君「見直しは嫌いです、だからしてませーん。」

ほらね。

できなかった問題をできるようにするための時間を取っていないでしょ。

だから、それは勉強ではないのです。

つまり、勉強というのは、

「まちがえてしまった問題」や「分からない問題」、「覚えられない語句」
や「カンでたまたまマルになった問題」などの“できないこと”を見つ
けて、それらを練習や復習をくり返して自分の力ちからで“できるようにす
る”ことを言うんだよ。

だから逆に言えば、問題をといてマルが付いた「できた問題」は、次からはやらなくてもいいのです。

君「だから、できなかった問題をそのままにしちゃいけないんですね？」

その通り！

だけどね、まちがえた問題をいったん^{あとまわ}後回しにしておいて
^{こじっ}後日それをやるというのであれば、できるようにするための練習を
していることになるのでOKですよ。

では、この「勉強の奥儀」
とっても大事なことなので、もう一度言いますよ。

勉強とは、できないことをできるようにすること。

覚えましたか？

では、今度は君が実際に口に出して言ってみてください。

君「えっ、今ですか？」

はい、そうです。

今、口に出して“勉強の奥儀”を言ってみてください。
どうぞ！

君「勉強とは、できないことをできるようにすること！」

パーフェクト！！ バッチリ言えましたね。

じゃあ次に、具体的にどのような^{てじゅん}手順で勉強を進めていけばいいのか、
その「勉強のステップ」を君に教えよう。

もし、君が問題集をつかって勉強をしていく時には、
次のページの手順を印刷^{いんさつ}して、それを机の前に貼^はりながら
勉強を進めていくようにしてくださいね。

君「つまり、次の【勉強のステップ】も大事なことなんですね。」

そのとおり。

次からは、問題をといたあとの、
マル付けをするところからの手順^{てじゆん}をくわしく説明していきますね。

「うっかりミスをなくす方法」や、「驚^{おどろ}くほど覚えやすくなる暗記^{あんき}のコツ」も
教えているから楽しみながら読んでくださいね。

それでは、今すぐページをめくってください。

これでもう迷わない！勉強の手順（5ステップ）

< ※超重要 勉強の手順 ^{てじゅん} >

1. ノートに答えを書き、マル付けをする。

2. まちがえたら、問題集の問題番号に印を付ける。

3. どうしてまちがえたのかを考え・調べ、わからなければ誰かに聞いて理解する。

4. 正しい方法を覚えて、できるようになったらその日の学習を終える。

5. 次の学習日では、前回まちがえた問題を復習してから次に進む。

勉強の手順

1. ノートに答えを書き、マル付けをする。

では、前ページの表だけでは良く分からないと思いますので、くわしく説明していきましょう。

まず、問題集を使って勉強するときには、必ず答えを直接、問題集に書き込まず、ノートを用意してノートに答えを書くようにしてください。

君「えっ、どうしてですか？」

問題集に直接書き込み、マル付けをしてしまうと、もう二度とその問題をするのができなくなってしまうよね。

「勉強の奥儀」でも言いましたが、できないことをできるようにすることが勉強の基本です。

問題集に答えを書いてしまったら、二回目の練習ができません。二回目の練習ができないってことは、できないものをできるようにするための勉強ができないってことになる。

君「わかりました。でも、学校や塾で直接書くように言われた場合はどうすればいいのですか？」

その場合は、前もってその問題集のコピーを取っておくか、2冊購入して繰り返し問題がとけるようにしておきましょう。

大切なのは、2回、3回繰り返せるかどうかなんですね。

それから、学校のワークやドリルなどの中には、たまに問題が書かれているところと答えを書くところ（かいとうらん回答欄）がページ内で左右に分かれている場合があります。

右図のようなタイプの問題集なら、右側の回答欄を^{らん}下敷きや手で^{したじ}かくせば2度、3度と練習することができますよね。

君「あ、そっか。そうやって^{かく}隠せば、コピーを取らなくてもくり返し勉強できますね」

このように、自分で何度でも繰り返し練習できる工夫ができるのであれば、コピーや2冊分を買わなくてもオーケーですよ。

では、話を進めていきますね。

最初に話したとおり、基本的に、問題の答えはノートに書いていきます。

そして、君が問題をひとつおきノートにやり終えたら、次にマル付けをします。

その時に合っているものには○マルを付けますが、まちがってしまったものには、どうすればいいと思う？

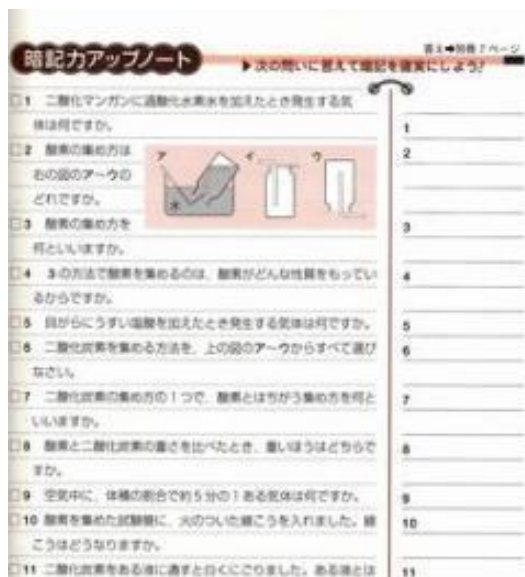
君「xバツ印をつけます」

うん、それが普通なんだけど、ここではxバツを付けずに正しい答えだけ書くようにしてください。

君「どうしてですか？」

うん、これは君の気分の問題なんだけど、バツ印があると少し残念な気分になるよね。勉強は少しでも明るい気持ちで楽しくやってもらいたいから、できるだけバツは書かないようにしてほしいんだ。

だから、まちがえたときは、正しい答えだけを書くようにしてくださいね。



勉強の手順

2. まちがえたら、問題集の問題番号に印を付ける。

手順1のマル付けで、正解したところとまちがえたところを区別できました。

次に、マル付けをしたら、すぐあとに、下の図のように「まちがえた問題」や「不安な問題（カンでたまたま当たっていた問題等）」の問題番号の所にマル印をつけるようにしてください。

6
ホップ
教科書の問題を復習しよう。

① 次の計算をしない。 [各3点]

(1) $35-(25+9)$	(2) $15+(24-18)$
(3) $5 \times (16-7)$	(4) $(17-8) \times 9$
(5) $(52+29) \div 9$	(6) $(62-8) \div 6$
(7) $48 \div (24 \div 6)$	(8) $(18+32) \times 5$
(9) $9 \times 4 + 14$	(10) $5 \times 7 - 30$
(11) $37 - 4 \times 7$	(12) $52 \div 12 \times 4$

このように印を付けておけば、つぎ君が復習するときどの問題をやればいいのかははっきりわかりますよね。一目瞭然（いちもくりょうぜん）ってことです。

この印つけは、はじめ、面倒だと思^{めんどう}う子も多いみたいだけど、やっていくうちにだんだん楽しくなってくるという感想をたくさんもらっています。君もやればきっと楽しくなってくるはずだよ（^-^）

勉強の手順

3. どうしてまちがえたのかを考え・調べ、わからなければ誰かに聞いて理解する。
4. 正しい方法を覚えて、できるようになったらその日の学習を終える。

印をつけて「まちがえた問題」や「不安な問題」がはっきりしたら、次にどうしてその問題をまちがえてしまったのかを調べて、正しい方法を覚えるところまでを一気に説明していきます。

君たちがまちがえやすい所は、だいたい次の3つのパターンがあります。

それは、

- (1) うっかりミス
- (2) さっぱりわからない問題
- (3) ^{たんじゅん}単純に知らなかったという問題

この3つです。

ここからは、3つのまちがえやすいポイントをそれぞれ説明していきたいと思います。

(1) うっかりミスをなくす方法

それでは最初に気をつけてほしいのは、算数などでの「うっかりミス」。

つまり、できるはずの問題でミスをしてしまった場合です。

君は、このようなうっかりミスをしたことはありませんか？

君「あります！うっかりミスをするとお母さんが怒るのでイヤなんです。」

そうか（^^；）。ではうっかりミスをなくす方法を教えよう。

(カット)

ここで具体的な内容が入ります。

(2) わからない問題に出会った場合はどうすればいいか？

では次に、バツが付いた問題が単なるうっかりミスではなく、わからなかった・理解できない場合はどうすればいいのか、その手順を見ていきましょう。

①解説を読んでみる

まず、マル付けをしてわからない問題にぶつかった時には、問題集の解説をじっくり読み、がんばって内容を理解してみよう。

解説がくわしい問題集であれば、考え方やとき方などがくわしく書かれています。

②解説を見ずにといてみる

次に解説を読んでとき方を理解できたら、今度は解答・解説を見ずにもう一度自分の力で問題をといてみてください。(式や計算などはメモ程度にちょこっと書くくらいでOKです。)

そして、解説を読まずに答えが出ればその問題の見直しは終了です。

(ここで自信がない時は、あとで説明する「ポーリング型勉強法」を使って同じ

ような問題(類題)を探して数問とくと、さらに実力と自信が高まります。)

このように、算数などでわからない問題にであつたら、まずは自力で解説を読んで理解できるように努力する、そして理解できたら再度、自分でといてみるという方法で進め

てみてください。

君「じゃあ、解説を読んでも理解できない場合はどうすればいいのですか？」

はい、その場合は次のように進めます。

③解説を読んでもわからなければ誰かにきいて理解する

問題をやってみただけれどさっぱりわからない、しかも解説も意味不明・・・そんな場合は、先生や親など誰かに聞いて説明してもらいましょう。

そして、聞いて理解できたら先ほどの②のようにもう一度問題をといてみましょう。

そして、正解が得られれば君の実力はアップしたことになります。

(同じく、ここでボーリング型勉強法をするとさらにグッドです。)

ここで、わからない問題をやる時の注意点が1つあります。

場合によっては君の実力を大きく超えた問題(むずかしすぎる問題)をやってしまう時があるかもしれません。そういう場合はいったん後回しにする(飛ばす)ことも大切です。

時間をかけてじっくり考えることはキミのアタマを良くするとっても大切な時間なのですが、30分考えても理解できないようなら一度後回しに^{あとまわ}しましょう。

たとえば、今の君に「アインシュタインの^{そうたいせいりろん}相対性理論を^{かんべき}完璧に理解せよ」と言ってもほぼ無理な話だし、理解するまで相当な時間をかけなければなりません。

君「な、何ですか？ソウタイセイリロン??」

大切なのは、今の自分の実力から見て「少しがんばればできる」という問題をしっかり理解し、できるようになればいいってことなんだよ。

君「ということは、解説を読んでも、誰かにきいてもさっぱりわからない時は
とりあえず飛ばしてもいいってことですか？」

そう、今はそれでいいよ。

でも、解説を読んだら、なんとなくわかるとか、もう少しでわかるといった場合は、必ず誰かに聞いて教えてもらうようにしてくださいね。

君「わかりました。」

では、わからない問題に出会った時の進め方についてまとめておきます。

■勉強の進め方：わからない問題に出会った時

- ① 解説を読んでみる
- ② 理解できたら、再度解説を見ずにといてみる
- ③ 解説を読んでもわからなければ誰かにきいて理解する
(理解できたら、もう一度かんたんとといてみる)

※自信をさらに高めるためにボーリング型勉強法をやるとさらにグッド！

(3) 単純に知らなかった問題を覚えるには？

まちがえやすい3つめのポイントは、これです。

このような、単純に知らなかった場合についてはどう勉強していけばいいのでしょうか。

じつは、これ。とっても簡単です。

どうするか？

単純ですが、覚えればいいのです（笑）

君「えっ、それだけですか？ そんなあ^{つめ}冷たいですよ〜。」

だってそうですよね。知らないことがあったらそれを覚えるしか点数を上げる方法はないのですから（^^）

君「何か、^{くたいてき} ^{あんき}具体的に暗記をする良い方法はないのですか？」

うん、あることはあるんだけど・・・。

君「もったいぶらないで教えて下さい！」

わかりました。じゃあ、特別に（笑）「暗記の4大ポイント」を君に伝授しよう♪

では例えば、漢字を知らなかった、社会や理科の言葉（語句）を知らなかったという場合、具体的にどう覚えればいいのかについて説明していきましょう。

「暗記の達人」が使う4つの技とは？

(カット)

ここで具体的な内容が入ります。

勉強の手順

5. 次の学習日では、前回まちがえた問題を復習してから次に進む

さて、途中で暗記のコツを教えたので、だいぶ間が空いてしまいましたが、最後に勉強の手順の5番目の説明をしますね。

ここまでで、マル付けを終えて、うっかりミスやわからない問題などの「できないもの」をどのようにして「できるようにして」いけばいいのかを説明してきました。

具体的には、

【問題をやる → マル付けをする → 問題番号に印をつける

→ 「見直し」をして出来なかった問題を出来るようにする】

ここまで進んできましたね。

これで終わりだと思うかもしれませんが、最後の大事な手順があるのです。

それが、「復習」です。

ここでは具体的な復習の手順を話していきますね。

(1) 「見直し」をした次の学習日に「復習」から勉強を始める

えーと、ここでは念のため、私が「見直し」と「復習」を区別していますのでそれについて説明しておきます。

「見直し」は問題をやった直後にすることで、まちがえた原因を見つけて理解し、できるようにするまでのことを言います。

そして、「復習」というのは、できるようになっている「はず」の問題を確認のため後日もう一度練習してみることを言います。

では、話を戻しますね。

この復習は「次の学習日」にするようにしてください。

つまり、算数の問題集を毎日やっているとすれば、昨日やった問題の中でできなかったもの（または正解していても不安なもの）を最初に復習してから今日の分をはじめるといことです。

(2) マル付け後、問題番号に^{しるし}印を付ける

復習をする時には、最初に問題をやった時と同様にノートに答えを書いていきます。

(算数の場合は、^{とちゅう}途中の計算も書いてくださいね)

そして、やり終えたらマル付けをします。

マル付けが終わったら、1回目の時と同様に問題集に印をつけていきます。

もし、前日まちがえた問題が正解となっていれば、問題番号に斜線（しやせん）を入れてマルを消します。

一方、前回に続き×（まちがえてしまった）場合は、問題番号に付けた

○印の上に○を付け足して◎にしま

す。(右図^{さんしやう}参照)

6 **ホッブ** 教科書の問題を復習しよう。

① 次の計算をしなさい。 [各3点]

(1) $35 - (25 + 9)$	(2) $15 + (24 - 18)$
(3) $5 \times (16 - 7)$	(4) $(17 - 8) \times 9$
(5) $(52 + 29) + 9$	(6) $(62 - 8) \div 6$
(7) $48 + (24 \div 6)$	(8) $(18 + 32) \times 5$
(9) $9 \times 4 + 14$	(10) $5 \times 7 - 30$
(11) $37 - 4 \times 7$	(12) $52 + 12 \times 4$

このようにして、2回目にやったときに、正解したかどうか印で判断できるのです。

これをする事で、

①復習をしたかがすぐにわかります。

②マル印が消せれば自分に自信が持てるようになります。

もし、この時点で2回目であるにもかかわらず、ほとんどの問題が◎印が付いてしまった場合は、^{ぜんじつ}前日の「見直し」に問題があったと思ってください。

復習の正答率は、9割を目指しましょう。

(つまり、10問中9問は正解となるように見直しをしっかりとやるということです)

(3) 復習でまちがえたら、もう一度見直しをする

この手順は、前にお話しした通りですね。原因を見つけて次の復習の時には必ずできるようにしましょう。

(4) ◎印がついた問題は後日、まとめて復習する

このように復習を進めていくと、◎印がついた問題が少しずつたまっていきます。

そうしたら後日、◎印がついた問題だけをやる日を作って、一気に3回目の学習をするようにしましょう。

そして、この3回目の学習の時点ですべての問題が正解するようにしてください。

もし、3回目でもまちがえてしまった問題があったら、その問題の理解が十分でないことが考えられます。

その場合は、だれかに質問をするか、次のページで紹介している“お宝ノート”に問題を写して(またはコピーしたものを貼^はって)、今はその問題は後回しにして他の問題に進みましょう。

それから、3回目の問題番号への印の付け方ですが、正解したものには^{しやせん}斜線を、まちがえたものには、○印を足して「3重の○印」にしてください。

このようにして、「できないもの」と「できたもの」を区別しながら、復習をくり返すことで、君の学力はぐんぐん伸びていきます。

おまけ：復習の効果を高める「お宝ノート」勉強法

「何度もやっているのに覚えられない！」

「またすぐに忘れそ〜」

そんなときに役立つのがこの「お宝^{たから}ノート勉強法」です。

この「お宝ノート」は、これまで使っていたノートとは別に用意する復習用のノートだと考えてください。

しかし、ただの復習用のノートではありません。
君にとって、最高の学習教材となるノートとなるのです。
だから、「お宝ノート」というネーミング（名前）なんですね。

このお宝ノートは、4科目分を1冊にまとめて使いますので
1冊用意してくれればそれでOKです。

（ただ、君が4・5冊分のノートをしっかり使い分けられるのであれば、漢字用、算数用、理科用、社会用などとお宝ノートを用意しても良いでしょう。）

使い方はとても簡単^{かんたん}です。

先ほどまでの学習で、◎や3重マルが付いてしまった問題の中で
なかなか覚えられない、ときどき復習したいと思った問題を選んで
このお宝ノートに書き写しておくだけです。

（ノートに書き写すのが大変な時は、コピーをとって貼りつけてもよい）

そうすることで、君はこの1冊のノートを開くだけで、
君が覚えなければならぬお宝問題がいつでも復習できるというわけ。



ねっ、このお宝ノート、いいアイデアだと思いませんか？

勉強とは、「できないことを できるようにすること」だったよね。

だから、このノートを作ることはとても良い方法なのです。

“お宝ノート”の作り方のポイントは、「問題形式^{けいしき}で書く」こと。

(例：“意外”という漢字を覚えたい場合は、「友達の今日の行動はイガイだった。」などとノートに書いておく。)

問題形式で書く理由は、いつでも問題としてとけるようにしておくためです。

だから、その問題の「答え」もこのノートに書いておいてください。

この「答え」はお宝ノートに書き写した問題のすぐ近くに書いてもいいのですが、それでは答えがすぐに見えてしまいます。

見えないようにする工夫、例えば答えは裏面のページに書いておく、あるいはノートの最下部に答えのらんをつくってそこにまとめて書いておくなどをするようにしてくださいね。

そして、ときどきこの「お宝ノート」を見返して君の弱点問題を一気に得意にしておおう！

では、最後にもう一度、勉強の手順をまとめてみましょう。

<勉強の手順>

① マル付けをして、自分がどこでまちがえたのかを見つける。
答えはノートに書く → マル付け後、問題集の問題番号に印をつける

② どうしてまちがえたのかを考える・調べる。

③ わからなければ誰かに聞いて理解する。

④ 正しい方法を覚えて、できるようになったら
その日の学習を終える。

見直し

⑤ 次の学習日では、前回まちがえた問題を復習
してから次に進む。

復習

君「なんだか、勉強のやり方がだんだんわかってきました！」

よーし、その調子。

では、ここでもうひとつ、見直しや復習をさらに効果的にして、
勉強に自信がつく「ボーリング型勉強法」を君に紹介しましょう。

君「あ、それって前に少しだけ出てきましたよね」

お、しっかり読んでくれているね。先生うれしいよ。

苦手意識がふき飛ぶ！ボーリング型勉強法とは？

(カット)

ここで具体的な内容が入ります。

◎ステップ2 各教科の絶対基礎力を“最短ルート”でマスターせよ

脳がよろこぶ“朝トレ”をはじめよう

各教科の勉強法を紹介する前に、これから毎日やってもらいたい朝のトレーニング、
略して“朝トレ”について話していきましょう。

君「え一朝から勉強ですか～、やだなあ。。。」

いやいや。勉強と言うよりも一つの習慣しゅうかんのようなものです。

朝起きたら、君は顔を洗ったり、歯をみがいたりすると思うけど、
その中の一つに、この朝トレを「20分だけ」してもらいだけです。

君「えっ、そうなんですか？1時間とか勉強するんじゃないかなあと
思っていました。」

ははは、そうか。心配しなくても大丈夫だよ。

この朝トレをやるだけで、君の脳のうが目覚め、ぐるぐるフル回転して
その日1日をシャキッと過ごすことができるようになるんだよ。

君「一体、朝トレでは何をやるのですか？」

ズバリ、「百ます計算」と「音読おんどく（暗唱あんしょう）」です。

これを毎日それぞれ10分ずつやるだけです。

これだけで、君の計算力と集中力はどんどん上がっていき、
さらに美しい日本語の表現や使い方が自然と身につくようになるのです。

使うものは次の2つです。

(カット)

最初の10分で、タイムを測^{はか}って百ます計算を、
あとの10分で、『(カット)』を使った音読練習をしてください。

■朝トレ前半10分：百ます計算の使い方

もしかしたら、君も学校でこの百ます計算をやったことがあるかもしれません。
(この百ます計算は、正確な計算力を得るための方法だと思われていますが、実はそれ以上に私が注目しているのが、集中力アップ・勉強の自信度アップなんです。)

この問題集では、百ますのたし算、ひき算、かけ算、あまりのあるわり算の4種類の計算問題がそれぞれ14日分(2週間分)用意されています。

コピーをして使ってもいいし、毎回切り取って使っても構^{かま}いません。
たし算から毎日1枚ずつ進めてください。

そして、目標タイムなどがあるのですが、一番大事なのは、昨日の自分よりも良いタイムを出すことです。

だから、毎日タイムをストップウォッチで測^{はか}って記録するようにしてください。

また、「がんばりグラフ(百ます教材に付^ふ属^{そく})」は壁に貼^はっておくようにしましょう。

君「目標タイムの目安はありますか？」

これは一つの目安ですが、

たし算・かけ算は2分、ひき算は2分半、わり算5分を目指して下さい。

でもね、最初はどんなにタイムが遅くてもいいんだよ。
そこからどれだけ自分のタイムが縮められるか、それが重要なんだ。

そして、最後には目標タイムをクリアできることを願っています。

(クリアしたら、お祝^{いわい}をしてくれるように親にお願^{ねが}いしておきましょう ^^)

君「『がんばりグラフ』にタイムを記録するのも楽しそうですね。」

そうなんだ。自分のタイムがだんだん短くなっていくとやる気も出てくるし
毎回、百ます計算をやるのも楽しくなってくると思うよ。

やっているうちに、「計算の秘密」を知ることができるかもしれないよ。

君「計算の秘密？なんですかそれは？」

計算のコツだよ。これに気付くと一気に計算タイムが短くなるんですよ。この計算の秘密に気づくことができたなら君は天才です。

君「え～。じゃあがんばって見つけてみます！」

応援しているよ！ そしてもうひとつ。

百ます計算をしたら、必ずマル付けをするようにしてください。

マル付けはなるべく親にやってもらうのがよいでしょう。でも、親がマル付けできない場合は自分でやっても OK です。ただし、自分でマル付けする時には、何となくマル付けをせず、ミスがないかしっかり確認しましょう。

そして、もしマル付けをして計算ミスがあったら、1つのミスにつき、5秒タイムを^{かさん}加算して下さい。

つまり、ミスをするとせっかく自己ベストタイムを出してもそれが台無^{だいな}しになってしまうということです。

だから、計算ミスをしないように素^{すばや}早く正^{せい}確^{かく}に計算できるように毎日練習していこう。

では、最後に計算ミスが多い人のための、計算ミス克服（こくふく）テクニックを教えましょう。

※ひと言コメント※

目標タイムをすべてクリアしたら百ます計算は卒業です。その後は、音読やこのあと紹介するパズル教材などをどんどん進めていきましょう。

☆< コラム：計算ミスをなくす裏ワザ >☆

(カット)

そう、この2点を知っておくだけで計算ミスは一気になくなります。
計算ミスが多い場合は、必ずためしてみてくださいね。

■朝トレ後半10分：『(カット)』の音読のしかた

では、朝トレの後半、音読の方法を説明しましょう。

(カット)

算数の絶対基礎力をマスターせよ

中学受験の算数で、今から身につけておくと後ですごくラクになるチカラがあります。

それが考える力、つまり^{しこうりょく}思考力です。

このチカラを楽しみながら身に付けられる方法を私はずっと探してきました。
そして、それぞれのチカラを高めるためのすばらしい勉強法を私はずいに見つけたので
す。それを今から君に紹介したいと思います。

この特別なチカラを身に付けるための学習を私は、

「^{たの}お楽しみタイム」と^{なづ}名付けました（笑）

君「お楽しみタイム？何ですかそれは！？」

そのまんまです。ゲームのように楽しみながら、これらのチカラを身につけられるから
「お楽しみタイム」なんです。

毎日やってもいいし、帰宅直後や勉強時間のあいまにやってもいい。
（もちろん、先ほど紹介した朝トレの中でやってもオーケーですよ。）

これは勉強ではなくてほとんど「遊び」だから、勉強時間以外で君がやりたいときに自由
にやればいい。

1日10分～30分くらいを目安にやれば十分楽しめると思うよ。

きっと、楽しいから気づいたら毎日のようにやっているかもしれません。

じゃあ、一体何をやるのか？その中身を公開しましょう（^◇^）

■ 「お楽しみタイム」の中身とは？

では、「お楽しみタイム」で使う教材を早速、紹介しましょう！

このお楽しみタイム、本当であれば君がやりたいものをどんどんやらせてもらってもかまわないのですが、参考として私のオススメの進め方を紹介しておきます。

(取り組む順番に並んでいます)

<思考力・地アタマを育てるパズル教材>

(カット)

これらのパズル教材をクリアしていくことで、君はわずか2ヶ月後、まわりの友達から「天才」と呼ばれることになるかもしれませんので覚悟しておいてくださいね (*^^)v

■お楽しみタイム：天才になれるパズルの進め方

それでは4つのパズル教材の使い方を、順番に説明していきます。

(カット)

<パズルをする時の注意点>

(カット)

■基礎をガッチリ固め応用力につなげる算数勉強法

ここまで算数のチカラを高めるための「お楽しみタイム」を説明してきましたが、ここからがいよいよ本番です。

毎日の百ます計算、そしてお楽しみタイムのパズルなどで高めてきた君の実力をここで試してみましょう。

君「いよいよ本格的な問題集を使った勉強がはじまるのですね。」

そのとおり。

ここで君が使うことになる教材は、
基礎を固めるために2冊（今君が4年生の場合は計3冊）
の問題集を使います。

君「いったいどんな問題集なんだろ？」

中学受験では算数はとても重要な教科なんだ。

ゆるぎない基礎を身につけるために、まずはこの2冊（4年生の場合は3冊）でしっかり基礎を身につける必要があるんだよ。

この基礎の2冊を、6年生に上がる前まで（3月まで）に終わらせることが君の第一目標となります。（難関校をめざす人は、小5の12月までに終わらせよう）

もしそのペースに乗ることができれば、パーフェクト。

算数の基礎力が順調^{じゅんちょう}に身につけていることになります。

でも、もしそのペースに追い付かなくても心配はいらないよ。
人によって、学習のスピード、ペースは違うものです。

だから、キミはキミに合ったペースで進めていく方が、実力は高まるんだ。

無理をせず、着実に、できないものをできるようにしていけばいい。
理解があやふやなまま進めてしまうと、かえって自信を失うものになるからね。
あせらず自分のペースで進めてください！

だから、これらの勉強を「いつまでに終わらせる」ということも大事ですが、
それ以上に、「しっかり理解して身に付ける」ことを第一に考えてくださいね。

君「はい。わかりました。」

では次からは、算数の勉強の進め方について話していくから
耳を澄^すませて、よーく話を聞いて下さいね。

君「耳を澄ませる必要はあるのですか（笑）？」

．．．．．。

そういうツッコミは不要です（^^；）

■ゆるぎない基礎を身に付ける2冊の問題集の使い方

まずは、ここで使う問題集を2冊紹介します。

(カット)

(カット) は、学校レベルの標準学力、そして中学受験の基礎力を身につけるのに最適な問題集です。

選ばれた良問りょうもんがギュッとつまった、そんな問題集。

この2冊をひととおり仕上げれば、学校でのテストは満点がねられます。
そして、さらに受験に向けた基礎力が完成します。

受験をする・しないにかかわらず、全員が取り組んでほしい問題集と言えます。

君「学校のテスト対策は、これだけで大丈夫ですか？」

うん、まったく問題ありません。

君「とにかく一問一問できないものをできるようにしていけば大丈夫ですよね」

そのとおり！

まずはこの2冊を、“ほぼカンペキに”できるようにしてください。

9割の問題（10問中9問）はかならず「できる」ようにしてください。

それが中学受験でいちばん大切と言われる算数の第一歩となります。

君がいま小5・小6なら、この2冊を学年順に進めてください。

<小4からサクラサクをはじめている人へ>

もし、いま君が小4生ならば、まずはこちらから学習していきましょう。

(カット)

この問題集は、「例題→きほんドリル→テスト予想問題→ハイレベル問題」というように、だんだんむずかしくなるように問題が並んでいます。

ハイレベル問題はすべてができなくてもいいのですが、テスト予想問題までは必ずできるようにしましょう。

現在、小4の人は、この問題集が終わってから、(カット)の2冊を進めるようにしてくださいね。

■ (カット) の進め方

ここで問題集の紹介と詳しい使い方を紹介しています。

<例題の進め方>

(カット)

<学習の目安 (めやす) >

このコーナーでは、君が学習計画を立てやすいように問題集を進めていく目安を紹介します。ただし、時には君の苦手な単元があって計画通りに進まない場合があると思います。そんな時には、計画の作り方のところで説明する「予備時間」などをうまく利用して遅れを取り戻すようにしてください。

(カット)

それでは最後に、算数の教材の中で、とくに優れたものをご紹介します。気になるもの、必要なものがあったらこちらもぜひ使ってみてください。

<「分数」が苦手な君へ>

もし君が大の分数ギライなら、この教材から算数の学習をスタートすることをおすすめします。

(カット)

この教材を使えば、分数と分数を使った割合の考え方がバッチリわかるようになるよ。参考にしてください。

< 「立体図形」が苦手な君へ >

図形が苦手な人も多いよね。

特に、平面ならまだ何とかなっても、立体的な図形、^{だんめんず}断面図や^{みとりず}見取図となるとお手上げという人も多いと思います。

そこで、おすすめしたいのが、こちらの図形教材です。

(カット)

< 坂本のおすすめ算数本 >

算数の本当のおもしろさに気づける本があります。

リビングなどに置いておき、時間のあるときに読みたい一冊。それがこれ。

(カット)

さあここまで、(カット)を使った算数の勉強方法と、困ったときに使える教材リストを紹介してきました。

算数の勉強は大丈夫かな？

たくさんの教材を紹介してきましたが、
これらをぜんぶをやる必要はないですからね。
自分にとって必要なものだけ、活用してください。

では、次のページからは2科目、国語の勉強のやり方について話していきますよ～。

国語の成績は上がりにくいとか、才能だとか、本を読んでいないと良い点は取れないと言われることがよくあるんだけど、実はそれらは全部ウソなんだよ。

その国語で高得点を取るためのヒミツについて話すから楽しみにしていてね☆

君「わーい ○ (^-^) ○ (ワクワク)」

国語の絶対基礎力をマスターせよ

それでは、国語について話をしていきますね。

国語という教科は、大きく分けると

- ・「^{どっかいもんだい}読解問題（文章を読んで答える問題）」
- ・「漢字」
- ・「言葉の問題（^{かんようく}慣用句や^{ぶんぽう}文法）」

の3つに分けられます。

入試に出題される^{わりあい}割合としては、読解問題55%、漢字30%、言葉15%です。

ですから、「読解問題」と「漢字」の基礎を早めに学習しておくことで85%の入試問題に対応できることになるんです。

そのため、ここではおもに、「読解問題」と「漢字」の学習にしぼってお話ししていきたいと思います。

「漢字」や「言葉の問題」というのは、覚えれば覚えるだけ成績を上げることができません。

しかし、一番やっかいなのは「読解問題」です。

なぜなら、「読解問題」というのは、勉強のやり方をまちがえるといくら勉強をしても成績が上がらないからです。

しかも、国語の入試問題の約55%（およそ半分）はこの読解問題が^し占めています。

つまり、この「読解問題」をいかに攻略するかによって国語の成績が大きく変わってくるといえるということです。

君は、いままでどのように国語の勉強をしてきましたか？

君「学校の先生は『たくさん本を読みなさい』と言っていましたけど・・・」

読書をする習慣がある人は、読書をまったくしていない人にくらべ、国語の成績が良いことは確かです。

なぜなら、「読む」ということに慣れ親しんでいるため、本を読まない人よりも素早く読む（理解する）ことができるからです。

・・・だけだね。

じつは、毎日のように本を読んでいる子の中には国語（読解問題）の成績がうんと悪い子もいるんだよ。

君「えー。そうなんですか？」

うん、意外に思ったかもしれないね。でも、これは本当の話なんです。つまり・・・、このことから何がわかる？

君「国語の成績は、才能さいのうに左右されるとか？」

いや、国語の成績に才能は関係ありません。

実はね、国語の読解問題というのは、

問題のとき方を知っているかどうかで決まるんだよ。

だから、たくさん本を読む人が必ずよい成績を取れるとは限らないんだ。

大切なのは、問題のとき方。

これが「成績アップの秘密」だよ。

ですから、もし君が本を読むことが嫌いだとしても安心して下さいね。

私がこれから話す方法で勉強をするだけでいいのです。

そうすれば、誰でも国語の成績をカンタンに上げていくことができます。

君「知っているか・知らないか・・・すごく大きな違いなんですね。」

そう、この「国語の秘密」を知っているかどうかで
君のこれからの国語の成績は大きく変わってくるんだよ。

君「では、これから国語読解問題のとき方を教えてくれるのですか？」

YES！では、話しを続けますね。

国語の読解問題を攻略するためには、「読解力（どっかいいりよく）」と呼ばれる
能力を身に付けることが必要です。

君「どっかいいりよく？」

うん、この力はカンタンに言うと、
「物語や文章を正しく読む力」のことを言います。

君「『正しく読む』？それはどういう意味ですか？」

はい、いい質問ですね。

「正しく読む」というのは、
物語文であれば登場人物の気持ちを正確に理解すること。
また、説明文であれば筆者の言いたいことを正確に理解する
ということです。

君「じゃあ、登場人物の気持ちや筆者の言いたいことを、
自分で勝手に予想しちゃだめってことですか？」

そのとおり！びっくりするほど、ものわかりがいいね君は（笑）

登場人物の気持ちは、必ず文章中に表現されています。
また、筆者の言いたいことも必ず文章中に書かれています。

それらを、君が文章を読んでいく中で「正しく読みとって」いけばいいんだよ。

国語の読解問題では、この「正しく読む」という力が一番大切なのです。
この力さえ、身につけてしまえばもうどんな読解問題も怖くなくなります。

大切なのもう一度言うね。

「正しく読む」というのは、

物語文であれば登場人物の気持ち、

説明文であれば筆者の言いたいことを正確に読み取ること。

これで君も読解問題マスターに一步近づいたね。

君「よっしゃ～ (*^_^*) /」

では、ここからは具体的にどんな問題集を使えば、この「正しく読む」力を身に付くのかを説明していきましょう。

国語の読解問題は、問題集選びがすごく大切なんだよ。

じゃあ、君にこの「正しく読む力」を身に付けるために最適^{さいてき}な問題集を紹介しましょう。

■読解問題編：読解力を身に付けるために最適な問題集とは？

では、「正しく読む力」を身に付けるための読解問題の問題集を紹介するね。

この読解問題はさっきも言ったけれども、入試問題の55%を占める大事な部分だから
気合いを入れて学んでいこうね。

(カット)

この4冊の問題集をこの順番に進めていきましょう。

君「え～、読解問題だけで4冊もあるの～(*_*;」

大丈夫。4つとも薄い問題集だし楽しく会話をしながら進んでいく問題集だから、君が
思っているよりもすらすら進んでいくはずだよ。

<勉強の目安（めやす）>

この問題集の構成は、各ステップがそれぞれ4～9つの単元に分かれています。

4冊合わせると合計20ステップ・105単元に分かれています。

1日2單元ずつのペースで学習していきましょう。

そうすると、全部で105單元あるので、53日分（2カ月弱）の勉強量
となります。

週6日のペースで計画を立てれば2カ月強、

週5日のペースであれば、2ヶ月半、

週4日のペースであれば、3ヶ月、

週3日のペースであれば、4ヶ月強 で終わります。

おまけ・・・ところで、この「週〇日のペースであれば〇ヶ月で終わる」というのは、

いったいどんな計算で算^{さん}出^{しゅつ}しているか分かるかな？もし、時間があったらぜひこの計算のナゾも考えてみてほしい。

<勉強のポイント>

この問題集の中では、先生と2人の生徒が楽しく会話をしながら読解力について学んでいくという流れで進んでいきます。

この3人の会話のやり取りはとても重要ですので、読み飛ばさずにしっかり理解しながら読んでいきましょう。

それから、問題の本文については「音読練習」もやるとさらに効果的です。毎回音読をしなくてもいいので、家族の誰かが聞いてくれる時にでもお願いしてみてください。

君「先生、どうして音読をする必要があるのですか？」

良い質問ですね。君が国語を勉強する目的のひとつに、「コミュニケーション能力を高める」という目的があります。

このコミュニケーション能力とは、自分が伝えたいことを相手に正確に伝える能力のことです。

相手に自分の「思っていること」や「気持ち」を正確に伝えないと、相手はあなたの言いたいことを正しく理解してくれません。

今までそんな経験はありませんでしたか？

例えば、「痛い」という言葉もその痛みかたによっては、「しくしく痛む」「ズキズキ痛む」「キリキリ痛む」「ギュッとつかまれているような痛み」というようにたくさんの表現の仕方がありますよね。

そういった自分が使える言葉をたくさん増やすために一番良い方法は、実際に自分で口に出して使ってみる（音読してみる）ことなんです。

君「そうか。だから口に出して読む『音読』は大切なんですね。」

その通り！

じゃあ、音読練習のポイントも話しておきますね。

これは、すごく大事なのでよく覚えておいてくださいね。

音読はただ読むだけじゃダメで、読みながら

自分で物語を理解し・楽しめるようになってください。

はじめはゆっくりでもいいし、途中で止まってもオーケーです。

読みながら頭の中で物語を楽しめるようになることが大切なのです。

物語を楽しめるようになってはじめて自分で使える言葉の量が増えるのです。

実はこの正しい音読法を知らない人は多いのですが、

君は今日からこの方法で練習していこうね。

君「はい。音読もがんばります！」

それからこれは補足（ほそく）ですが、問題集の中に出てくる

3人の顔（マンガ）の表情にも少し注目しながら読んでみると

より理解が深まると思いますよー。

この4冊を使って、読解力を身につけていきましょう。

■漢字編：入試に出る漢字をマスターしよう！

では、次に漢字について話していきます。

漢字の分野^{ぶんや}は、国語入試問題の約30%を占めています。

つまり、国語の問題10問中、3問は漢字の問題が出るということですね。

君「けっこう多いんですね〜。」

そう、意外と多いんだよ。

普通の漢字の読み取り・書き取り問題以外にも、
読解問題中にも漢字で書きなさいといった問題もあるからね。

そして、その中でも特に出題されるのが小学校5、6年で習う漢字なのです。

君は、これらの漢字を効率よく覚えていく方法を学ばなければなりません。
では、その方法を教えますね。使う問題集はこちらです。

(カット)

ここで問題集の紹介と詳しい使い方を紹介しています。

■ 「書く力」を身につけるおすすめ教材

ここまで「読解問題」と「漢字」にしぼって勉強方法を書いてきましたが、最近、とくに重要になってきた国語の力というものがあります。

それが、「書く力」です。

文章や作文を書くのがとっても苦手、という人は多いと思います。

君「はい。苦手だし、嫌いです（笑）」

そうかそうか。でもね、今こんなふうには文章を書いたり、本を出したりしている私も、じつは文章を書くのがとっても苦手だったんだよ。

君「ええ！そうなんですか～意外です。」

でもね、これは覚えておいてほしいのだけれど、君が将来仕事をするようになったら、書くことから逃げることはできません。

なぜなら、仕事ではメールを使ったり、レポート（報告文）や提案書、時には反省文を書いたりもします。

そんな時に、「文章は苦手だから書きたくありません」なんてことは言えないよね。

君「会社をクビになっちゃいますよね(+o+)」

将来、君が書くときにあまり苦勞をしないために。

そして中学受験や高校受験でも作文やまとまった文章を書く問題も出るから、今のうちに準備をしておきたいよね。

そこで君には私が選び抜いた、楽しく「書く力」を身につけられる教材を紹介しちゃいます。それがこちら。

(カット)

理科の絶対基礎力をマスターせよ

では、次に理科の学習の仕方について見ていこうね。

「理科は苦手」という人はとても多いのだけれども、実は理科というのは私たちの身の回りの出来事についての勉強だからとても楽しく勉強できる教科なんですよー。

そこで、最初に君に読んでもらいたい本があります。

(カット)

では、この本に出てくる問題をひとつやってみようかな〜。

では、いきなりですが質問です！下の問題を見てください。

理科クイズ

ヒトの胃の数は1つですが、ほかの動物には胃を2つ以上持っているものもあります。下の動物の中で、胃の数がもっとも多いものは、次の①～③のうちどれでしょうか？

- ① ウシ ② ハムスター ③ ゾウ

君「胃って、おなかのあたりにある食べ物が入るところですよ〜。

どの動物も胃は一つだと思っていました。う〜ん。。。」

この問題が正確にわかるのであれば、動物博士ですね。

実はこの答えは・・・

君がこの本を読んでからのお楽しみにしておこうと思います（^ー^）

君「え〜〜〜！！！！\（° 口\） 気になります〜！！」

この本はこの問題以外にも楽しい問題がたくさん詰ま^つっていて、その質問について考えてい^くだけで、知らず知らずの間に入試に必要な理科の基礎知識が身についてしまうという^とってもお^と得な読み物なんですね〜。

そして、この本はぜひ、家族のだれかと一緒に読んでみてください。

そして、おたがいにクイズ形式で質問をするのです。

そうすると、さらに楽しく理科の勉強ができるんですね〜。

君「うわー、理科って問題をたくさんやらなきゃいけないのかなあと
思っていたけれど、これなら楽^{らく}勝^{しょう}かも・・・」

いやいや、もちろんこれだけでは終わりませんよ（笑）

君「やっぱり(T_T)」

でも、君に少しでも理科は身近なものでオモシロイものなんだってことを知ってもらいたかったんだ。

身の回りにある不思議を、「これってどうして〇〇なんだろう？」と考え、そして「あ〜、そういうことだったのか！」と気づくことは理科ではとっても大切なことなんだよ。

だから、このあとからは参考書と問題集を使って勉強していくけど、「どうしてそうなるのか？」という疑問を持ちながら勉強してほしいんだ。

では、準備はいいかな？

君「準備 OK です。『どうしてなんだろう？』と考えることが大切なんですね。」

■理科実践編

では、ここからはいよいよ参考書と問題集を使った勉強をしていきます。
使うものは次の2つが基本となります。

(カット)

ここで問題集の紹介と詳しい使い方を紹介しています。

社会の絶対基礎力をマスターせよ

いよいよ最後の教科、社会の勉強法について話をしていきますね。

社会は、^{あんきかもく}暗記科目と言われているので、たくさん覚える覚えない覚えない
教科というイメージが君にあると思います。

君「そうそう。暗記はどーも苦手で・・・。」

でもね。

中学入試では、ただ単に暗記をするだけではダメで、
歴史の勉強であれば、

- ・ どうして、その出来事が起こったのかということや
- ・ どうして、その人物はそのような政治をしたのか
- ・ どうして、その時代にはそのような文化が発展したのか

というような、「どうして?・なぜ?」ということまで含めて理解する
必要があるのです。

そして、その「どうして?」というものも含めて勉強することで
実は、暗記がとっても楽になり、語句なども覚えやすく、
そして忘れにくくなるんだよ。

君「へ～。じゃあ、ただ暗記すればいいって問題じゃないんですね?」

そのとおり。

実は、遠まわりに見えるようだけど、このように「どうして?」を考えながら
勉強することが将来の君の中学受験、そしてさらに先の大学受験の成功を
もたらすことになるんだよ。

じゃあ早速、くわしい社会の勉強法を見ていきましょう。

社会は、全部で3つの大きな分野に分かれることを知っているかい？

ひとつは、「地理^{ちり}」と呼ばれている。

これは、地図を使って日本各地や世界の特色などを勉強する分野です。

ふたつ目は、「歴史」。

おもに日本がどのような時代や出来事をへて今の時代になったのかを勉強します。

さいごに、「公民^{こうみん}（政治・経済・国際）」。

日本の憲法や政治・経済、そして国際社会とのかかわり方を学びます。

これから、地理→歴史→公民という順で勉強をしていきます。

では、早速「地理」の勉強法から見ていきましょう。

■地理の勉強法

地理の勉強で一番大事なのは、地図の読み方になれ、作業をとおしてたくさんのことを覚えていくことです。

実際に、その場所に訪れてみるのもとても重要です。
もし、勉強をしていて気になるところや行ってみたいところが出てきたら、親にどんどん伝えてみよう。

もしかしたら、君の行きたい所に連れて行ってくれるかもしれないよ♪
では、ここで使う教材を紹介します。

(カット)

ここで問題集の紹介と詳しい使い方を紹介しています。

<知らない言葉が出てきたら・・・>

君「この教材をやっていると、意味のわからない言葉がたくさんでてくるのですが、
そういった時は、どうすればいいのですか？」

はい、いい質問ですね。

この教材を使っていると、聞いたことのない言葉、聞いたことがあっても意味がよく分からない言葉がたくさん出てくると思います。

そんな時には、辞書（国語辞典）やインターネットを使って、その言葉を検索して（調べて）みてください。

例えば、福井県のところでは、「『^{とうじんぼう}東尋坊』の景色は見事です。」ということが書かれています。しかし、写真が載っているわけではないので東尋坊の景色の^{みこと}見事さがまったくわかりませんよね。

このような時、インターネットで「東尋坊 画像」、または「東尋坊 景色」というように検索すると、東尋坊の写真が出てくることでしょう。

また、「^{ようしよく}養殖」というような言葉の意味が分からない時には、国語辞典で意味を調べてみてください。またインターネットで言葉の意味を調べる時は、「養殖とは」というように「～とは」と^{けんさく}検索すると言葉そのものの意味を調べることができます。

わからないことがあったら、そのままにせず自分で調べる。

勉強にはそれがとっても大切なのです。

■歴史の勉強法

では、次に歴史の勉強法について話していきます。

歴史の勉強のポイントは、

各時代の出来事を、その時代背景と一緒に覚えることです。

つまり、「794年に平安京^{へいあんきやう}に都を移した」とか「徳川家康^{とくがわいえやす}は〇〇をした」というように出来事^{できごと}だけを丸暗記^{まるあんき}するのではなくて、どうして都を移したのか？どうして徳川家康は〇〇をしたのか？という時代背景^{はいけい}も含めて覚えるということ。そう、まるでテレビドラマを見ているような感じで覚えてほしいのです。

前にも話したように、この「どうして？」ということを考えながら歴史の流れを理解するようにしてください。

君「歴史の勉強の仕方、覚え方は良くわかりました。でも、具体的にどうやって勉強したらいいのかしら・・・。」

そうだね。学校で使っている教科書も、「どうして？」の部分の説明が少ないので見逃してしまうことが多いんですよね。

そこで、君には特別に、この「どうして？」の部分が簡単に理解できてしまう読み物を紹介しましょう。歴史ではこの読み物を使って学習を進めていきます。

(カット)

そして、この2冊を使えば、「どうして？」の部分がくわしく書かれているので、歴史の流れがよーくわかるようになるよ。

この読み物で時代の流れや時代背景を理解しながら、重要な語句の暗記については、次の教材を使っていきます。

(カット)

では、以上の3冊を使った勉強のやり方を具体的に見ていきましょう。

君「なんだか、早く勉強してみたくなってきましたー！」

ここで問題集の紹介と詳しい使い方を紹介しています。

■^{こうみん}公民（政治・国際）の勉強法

それでは、最後に公民（政治・国際）分野の学習です。
この分野の勉強は、君たちにあまりなじみがないため、
難しい、よくわからない、つまらない（笑）と思っている人が多いようです。

私の勉強法は、君がなるべく楽しめるように工夫しているのが特徴です。

「つまらん！わからん！実感できん！」

そんな3拍子^{びょうし}そろった分野を学習する時に効果を発揮するのは・・・

そうです。

「●●」の登場です♪

君「いよ～っ。待ってましたー！」

これなら、楽しくおもしろく学習できるよ。
では、その「お楽しみ教材」を紹介しましょう。

(カット)

では、これを使って、「政治・国際」の基本をバッチリおさえてしまいましょう。

ここで問題集の紹介と詳しい使い方を紹介しています。

さて、これで算数、国語、理科、社会の勉強方法をすべてお話ししました。

4科目の勉強では、何をやればいいか。

そしてどうやればいいかがハッキリしたのではないのでしょうか。

君「勉強も楽しくできそうですし、勉強方法がよくわかりました。

あとは“いつ”勉強するかだなあ」

そうだね、あとは「いつ勉強するか」を決めれば勉強をスタートできるね。

大丈夫、「学習計画の立て方」も、私にまかせなさい！

何せ、私は『小学生の学力は「計画力」で決まる』（大和出版刊）という本を書いているんだよ。

それでは早速、次のページをめくって計画を立てていこう。

◎ステップ3 最強の学習計画を立てよう

計画を立てると、充実した毎日が過ごせる

これまで4教科のそれぞれの勉強のやり方をくわしく見てきました。
でも、どんなに良い勉強法を君が知ったからといっても、
それを実行できなければ、まったく意味がありませんよね。
それでは、もったいないです。

そこで、ここからは君がこれらの勉強法をはじめやすいように、
“正しい”計画の立て方を^{でんじゅ}伝授してきたいと思います。

君は、「計画」と聞くと、どんなことを思い出しますか？

多くの方は、計画と聞くとあまり良い思い出がありません（笑）
なぜなら、計画を立ててもなかなか計画どおりに進まなかったり、
途中でやめてしまったりする場合はほとんどだからです。

君「そうそう。夏休みの計画なんて、いつもうまくいかないんです。」

そうだよね（笑）。君も計画を立てるのが苦手な一人か〜。
計画を立てる時までは楽しいけど、
いざ実行するとなると、うまくいかない。

君「そうです。いつもそうなんです。」

では、そんな君にうってつけの計画の立て方を^{でんじゅ}伝授しましょう。
この計画の立て方をマスターすれば、計画を立てても途中であきらめてしまうことも少
ないし、君の毎日の生活がとっても充実したものになるんだよ。
だからぜひ楽しみに聞いてほしいと思います。

それでは、ここからはえんぴつを持って、書き込みながら計画を立てていきますよ。
（用意するもの：えんぴつ、けしごむ）
用意ができたなら次のページに進んでください。

■計画を立てるときの3ステップ

では、坂本流・計画を立てるときの3つのステップについて話していきますね。

まずはその3つを見てください。

- ステップ1. 「やることリスト」をつくる (何を)
- ステップ2. 「やることリスト」をつくる (どれだけ)
- ステップ3. 「週間計画表」をつくる (いつ)

そして、下の図のような計画表を作ってもらいます

週間計画表 なまえ _____

	月	火	水	木	金	土	日
6:00							
30	朝トレ または お楽しみタイム						
7:00	ごはん・したく						
30							
8:00							
30							
9:00							
30							
10:00							
30							
11:00	学 校						
30	(時間割を書いてもOK)						
12:00							
30							
1:00							
30							
2:00							
30							
3:00							
30							
4:00							
30	学校の宿題 または お楽しみタイム						
5:00							
30							
6:00							
30							
7:00							
30							
8:00							
30							
9:00							
30							
10:00							
30							
11:00							

では、早速ステップ1からやっいていこう！

■ ステップ1. 「やることリスト」をつくる（何を）

（カット）

■ ステップ2. 「やることリスト」をつくる（どれだけ）

（カット）

■ ステップ3. 「週間計画表」をつくる（いつ）

（カット）

小学生の中で予備時間を作り、ゴールデンタイムを意識して、さらに土日はゆるやかな学習計画を、なんて高度な計画を立てている人はめったにいません。

それほどまでに、これはレベルの高い計画の立て方なんだよ。
君が将来、社会人になってからも通用する、すごいテクニックなのです。

ここで学んだ計画の立て方を、ぜひ自分のものにしてほしい。
君も計画名人になる日は近いぞ！（^^）／

あ、それから。

計画を立てたら、家族のみんなにこう^{せんげん}宣言して下さい。

「私は、この計画どおりに、楽しみながら
勉強することを、ちかいます。」

そして、計画表ができたならもうひとつやってもらいたいことがあります。

計画表を作ったら、自分の勉強する場所に1枚、それから家
族が集まる部屋にも1枚貼るようにしてください。

これは、家族のみんなから君を厳しく監視してもらうことが目的ではありません。
家族の部屋に貼るのは、君の学習計画に協力してもらうためなんです。

君が真剣に・集中して勉強している時、

ほかの家族にはなるべく静かに過ごしてほしいよね。

それに、君が計画どおり進めていこうと思っても、
時にはうっかり勉強開始時間を忘れてしまうときがあるかもしれない。

または、急な予定が入った時に、どのように計画を立て直せばいいのかを
すぐに相談できるように家族の部屋にも貼っておくのです。

また、時には気分が乗らない時、やる気がでない時もあるでしょう。
でも、思い出してみてください。

サクラサクには、マンガ本やパズルにクイズがある

つまり君は、

日本一楽しい勉強ができる小学生 なのです。

君は相当ラッキーな小学生だということを忘れないでください。

最後に、坂本からのメッセージ

最後に、私から君へ大事な話があります。

ここまで、この本を読んでくれて本当にありがとう。

ここまで読んだら、あとはやるだけです。

そして最後に君にとっておきのプレゼントがあります。

それは、勉強がさらに楽しくなる「合格マップ」です（2ページ先を参照）。

この合格マップは、「朝トレ」「お楽しみタイム」、それに各教科の問題集がどれだけ進んだのかがひと目でわかるマップです。

君の勉強が進むごとに、親からシールを必要分だけもらってください。

そうしたら、この合格マップにシールを貼っていきます。

50枚のシールが集まるごとに、うれしいお祝いが待っているよ。

お祝いとして、思い出に残るような場所（山や川、〇〇博物館や〇〇体験、ディズニーランドやUSJなどのテーマパークなど）に連れて行ってもらいましょう。

さあ、やる気が出てきたかな？

楽しみながら、行きたかったところに行けるようになるし、

何より自分自身のためになるし、勉強って実は悪いものじゃないよね。

勉強は、「楽しんだもん勝ち」なんです。

この合格マップをうまく使っていけば、

気づいた時には、中学受験に必要な力が身についていることでしょう。

塾のお金を^{せつやく}節約した分、思い出に残るような場所に

連れて行ってもらってください。

だから、あとは君がやるだけです。

ひとつも難しいものはありません。

この方法でやっていけば、塾も必要ありません。
家庭学習だけで中学受験の基礎力が完成します。

そして、君が行きたい中学に入ったら
新しい友達との楽しい中学生生活が待っています。

ぶかつ たいいくさい がくえんさい しゅうがくりょこう
部活や体育祭、学園祭に修学旅行。楽しいことは盛りだくさんだ。

はっきり言いましょう。

この本に書いてある方法は、現在日本で一番楽しく、
そして、日本で一番学力が身につく方法です（キッパリ）

だから、もし君がこの本を手に入れたのに勉強をしない
なんてことがあったら、あとで大きな後悔こうかいすることになるでしょう。

「今まで大変だった勉強を少しでも楽しんでほしい」
そんな気持ちを込めて私はこの本を作りました。

君は勉強を自分のためではなく親のためにやっているのかもしれない。
良い点を取った時に、親が喜んでくれるのがうれしくて勉強をがんばっている
のかもしれない。

今はそれでも良いけど、最後には勉強というものは、
自分のために、自分で決めてやるものなんだ。
つまり、自分でこれを「知りたい」から勉強をするということ。

君がこの本を通して、少しでも勉強の楽しさに気づいてくれたら
本当にうれしく思います。

私を信じて、この本のとおりに勉強してみてください。

(ここに合格マップが入る)

必ず、何か大きな発見があることでしょう。

君のお母さん・お父さんは、君を本心^{ほんしん}で応援してくれている。

そんな親の愛情を受けられる君は本当にしあわせ者なのです。

そのことを覚えておいてください。

君がこの本を使うことがきっかけとなり、

志望校^{しぼうこう}（行きたい中学校）に見事合格する日を楽しみにしています。

君の勉強がどこまで進んだのかも時々私にメールで教えてください。

そして、志望校^{しぼうこう}に合格した時、私のことを思い出してくれたのなら

その時はメールしてくださいね。

君の合格を心から願っています。

それでは、楽しんで（^-^）／

君の応援団のひとり



■ 「サクラサク中学受験」のお申込みはこちら ■

https://www.dreameducation.co.jp/chu/order_pay.html

（上の青いリンクをクリックしてください。）

一緒に頑張っていきましょう、お子さんの学習を応援させていただきます
坂本七郎より